

令和１年度第３学年全国学力・学習状況調査の結果について

Ⅰ 到達度について（正答率％）

国語・数学・英語とも正答率が全国平均を上回っている。特に国語は全ての設問で上回っている。課題は全教科を通して「考え、表現する」力。自分の考えをまとめ、他者と比較し深め表現する活動を積極的に取り入れる。

２ 各教科ごとの分析

	優れている点	改善を要する点	今後の対応
国語	全ての領域で全国平均を上回っている。特に「話す・聞く能力」に優れ、学習の定着を示している。	「自分の考えをもち文章に表現する」設問において無回答が複数名あった。	文学作品などを通して自分が感じたことを文章に表現し、他者と比較し考えを深めるために、物語や古文・和歌の鑑賞文を書き、グループやクラス全体での交流活動を積極的に行う。
数学	ほぼ全ての領域で全国平均を上回っている。基本的な計算力や各単元の基礎的事項が定着している。	図形分野の条件に関する事項などに定着率の低さが認められる。また、資料を読み取りその理由を説明する設問の正答率が低い。	図形の性質や条件などの基本的事項について、授業中の復習や家庭学習プリントを利用して整理と定着を図る。 資料を読み取り、自分で考え表現し他者と交流する時間を確保する。
英語	基本的な読むこと・書くことに関する定着率が高い。 文章を正確に読み取ったり話のあらすじを理解したりする設問の正答率が高い。	「教室英語をはじめ、情報を正確に聞き取る」など聞き取りに関する設問の正答率が全国平均を下回る。	教室英語を含め、授業での英語を聞く機会を増やし、ペアやグループで聞き取り内容を確認したり、聞き取り内容を使った会話などの活動を積極的に取り入れる。